



JFA第47回全日本U-12サッカー選手権大会山口ブロック大会 応援ありがとうございました。

キックオフのホイッスル、選手たちはそれぞれの役割を感じながら積極的に動き出しましたが、前半の早い時間帯に相手左サイドからの攻撃で失点。でも、選手たちは動じることなく対策を講じ、まずはゲームの安定化を図り、落ち着いてきたところで前へのビルドアップを果敢に試みました。徐々に攻撃に転じていくも、0対1のまま前半終了。

後半に入るとさらに攻撃を強め、あと一步で得点というシーンを作りましたが、終盤は前がかりに攻め込んだ状態からカウンターで二失点を献上してしまふことに。それでも、最後のホイッスルまで全力を尽くして相手ゴールをめざして戦い抜く選手達は躍動しました。結果は0対2となりましたが、たった二人の六年生の頑張る姿と二人を盛り上げながら五年生以下も一つにまとまったチームワークは見る人を感動させるものとなりました。



予選ラウンド1回戦 ● 0-2 vs 吉敷サッカースポーツ少年団

十一月三日(祝金)に、あじす元氣ランドで、JFA第四十七回全日本U-12選手権大会の山口ブロック大会が開幕しました。二十六年生にとっては公式戦最後のサッカー大会であり、全国最高峰の大会です。

昨年4年ぶりに県大会に出場した二十五期生(現中一)とその保護者らも駆けつけ見守る中、後輩選手や保護者、ご家族、サポーターの応援を追い風に力一杯の戦いが始まりまし。

昨年16回目の県中央大会出場を成し遂げた25期の後を受け、26期の全国への戦いが始まりました。

今期、市リーグは6位で終わったため、市予選の組合せも厳しく、上位チームに勝つことが市を突破する条件となりました。その厳しい状況でも、夏のインテグラルキャンプでみんなが決めた「最後まで諦めないチーム」の姿を見せた選手達を誇りに思います。

結果は、初戦敗退となりましたが、夏の県選手権ベスト8の強豪吉敷サッカースポーツ少年団を相手に、あと一步のところまで戦えたことは、「大きな大きな財産」です。心から健闘を讃えたいと思います。今後の成長をさらに期待します。

最後に、6年生がたった2人でも前向きに力強く、明るくたくましく取り組んだ岡村さんと岩本さんとの出会いに感謝します。そして、6年生を中心に前向きに取り組む子どもたちを応援して下さった全ての皆様にお礼申し上げます。

代表 加藤 浩



第27期 Kick Off Meeting

26期最大のチャレンジであった全日本選手権大会を終え、まだその惜敗の悔しさも冷めやらぬところですが、次は27期の全日本に向け「可能性へのチャレンジ」の始まりです。そこで、26期を牽引してくれた6年生へのリスペクトも込めた懇親会「第27期 Kick Off Meeting」を実施しました。

加藤先生からは、先生のお考えを生のお言葉で頂戴し、YSSに受け継がれてきた強く美しい姿勢を、選手だけでなく、保護者にもご教授いただきました。

その一つ一つは、先生ご自身の少年時代や教員時代等に経験された事柄に基づいたもので大変説得力があり、保護者一同、感銘を受けるとともに、更なるチャレンジに向けて、気持ちを奮い立たせていただくことができました。

その後、先生方を囲んで楽しい時間もすごし、親睦を深めることもできました。



選手、指導者、保護者による大円陣

JFA第47回全日本U-12選手権大会山口ブロック大会を終えて(6年生の言葉)



6年生は2人しかいませんが、5年生以下のみんなと一生懸命戦いました。ブロック大会で負けてしまいましたが、この経験を活かして、僕はこれからもサッカーを頑張ります。応援して下さった皆様、ありがとうございました。加藤先生をはじめとする先生方も本当にありがとうございました。



僕は6年生からYSSに入りましたが、YSSではサッカーだけでなく、挨拶や感謝の心など沢山の事を学べて充実しています。県大会に行く事はできませんでしたが、卒団までもっともっと強くなれるよう頑張ります。応援して下さいました皆様、加藤先生をはじめとする先生方、僕たち2人しかいない6年生を支えてくれたチームのみんな、ありがとうございました。

29 岡村 篤志(上郷小)

6年生に上がる時点で、ジュニアの6年生が一人かも状態だった。しかしながら、「僕は最後までやり切る。」と頼もしい6年生に。後輩たちに決して威張らないところが素敵！どのポジションでも、どの状況でも気持ちよく元気にピッチに入っていく姿はYSSの誇り！

51 岩本 翔馬(宮野小)

「キーパーとしての実力を上げたい。」という目標を胸に、今年4月、6年生になってからの入校。固い意志にお母さんとも心を動かされ、本格的に活動。今では、幾度もピンチを救ってくれるYSSの守護神に！30m以上投げる右腕も神レベル！

**準優勝 U12 第11回FC亀山
サッカーフェスティバル**

11月4日(土)、乃木浜総合公園人工芝グラウンドで開催された大会に参加しました。
前日に、全日山口ブロック大会を終えたばかりでしたが、選手たちはまた新たな可能性へのチャレンジをスタートさせました。あと1歩で優勝というところまで善戦し、応援席からも拍手が送られました。



予選リーグ Dブロック ゴールドトーナメント
○2-0 vs 下関北 準決勝 ○8-0 vs 亀山B
○4-3 vs 周東 決勝 ●1-2
Dブロック1位 vs 小倉ダックビルズ

**愛情防府マツダ招待
サッカー大会(U-12)**

11月11日(土)・12日(日)、防府市陸上競技場、防府市スポーツセンター人工芝グラウンドで、第39回マツダ招待サッカー大会が開催されました。
YSSは、この歴史と伝統のある大会に参加させていただける喜びを胸いっぱい感じ、思う存分のプレーを満喫していました。
この経験は、YSS26期生の今後の人生にとって大きな糧となるはずです。
改めて、大会関係各位に感謝申し上げます。



11日(土) 12日(日)
●1-6 vsレオーネ ●0-4 vsレノファ山口
○2-0 vs西岐波 ○2-0 vsヨセフ
○3-2 vsクレフィオ ○3-1 vs秋月
→Eブロック3位 →最終結果15位

**YSS主催大会
第4回山口U-12チャレンジカップ**

11月19日(日)、ながとスポーツ公園(人工芝)で、県内外の優秀なチームをお招きし、YSS主催でU-12チャレンジカップを開催しました。優勝は、レノファ山口でした。おめでとうございます。
ご参加いただいたチームの皆様、ありがとうございました。
<参加12チーム>
広島高陽、中井、舞の里、周東FC、秋月、レノファ山口、REGALO山口、太陽、クレフィオ、レノファ山口ウエスト、レストライザック、山口SS



予選リーグ Aグループ フレンドリーマッチ
●0-2 vs秋月 ○3-1 vs太陽
○2-2 vs松崎 →Aグループ3位

**第3位
U10 近郷親睦サッカー大会**

11月12日(日)、光スポーツ公園 第二球技場で開催された大会に参加しました。
今回の大会での失点はわずか1点。しかし、その1失点により優勝への道を阻まれました。選手たちはあきらめず、1点の重みを学ぶことができました。



予選リーグ 第二グループ
○2-0 vs麻里布 ○4-0 vs浅江島田
○3-0 vs久保 →最終結果 第3位
●0-1 vs豊井
→3位決定戦

**U9 第16回U-9
秋月親睦サッカー大会**

11月23日(木祝)、秋月小学校、黒岩多目的広場で開催された大会に参加しました。
「何をするべきか気付こう！ 気付いたら行動しよう！」とあてをたてて、大会へ。試合中だけでなく、様々な場面で、どんな気付きがあったでしょうか。気付き、行動する難しさを体感した選手たち、これも1つの「気付き」です。



初めて経験するPK戦。緊張の中、みんなで肩を組み、キッカーの選手を見守りました。

U8U7 周南FA

11月18日(土)、周南市サッカー場で開催された大会に参加しました。
当日は、途中、土砂降りになるなどの悪天候。急遽、出場を辞退するチームもあり、予定を変更して試合が組まれました。YSSは2チームエントリーしていましたが、ワンチームで参加。
寒い中でしたが、精一杯がんばりました。



「寒い時は走ろう！」と、元気な選手たちです。

U8 2チーム出場 第21回吉敷カップ(U-8)

11月4日(土)、維新百年記念公園ちよるの広場で開催された、吉敷スポーツ少年団さん主催大会に、アカデミーコースの選手たちが参加しました。
2チームエントリーで、どちらのチームもしっかりチャレンジしてきました。



上級生たちの試合ルールに準じて行われた本大会。初めてのルールに戸惑う選手もいましたが、おかげ様で、子どもたちはいろいろな相手とゲームを満喫し、大変貴重な経験ができました。

山口SS(A)
●0-4 vs 吉敷
●0-7 vs FORZA
○3-1 vs 平川
Aブロック3位
5位決定戦
○7-2 vs 大殿
第5位



優秀選手賞
2年 山寺選手

山口SS(B)
○8-0 vs 小郡
●0-13 vs 山口SC
○7-2 vs 大殿
Bブロック2位
3位決定戦
●0-10 vs FORZA
第4位



優秀選手賞
1年 金山選手

YSSF(フットサルスクール)開催

11月25日(土)、キリンレモンスタジアムソルトアリーナ防府で、YSSF(フットサルスクール)を開催しました。YSSFは、YSSの選手以外も参加できます。



「選手コース」では、フットサルでよく使う技術や戦術を学んだ後に、実践。失敗を恐れずにチャレンジをしよう！と、積極的なプレーを心掛け、練習といえど、激しいせめぎ合いを見せていました。
「エンジョイコース」は、楽しむことが目的といいながら、試合となると毎回白熱した戦いが...。子ども以上に勝ちにこだわり頑張る父母たちです。
今回も笑顔溢れる楽しい時間でした。



お兄ちゃんたちに負けないぞ！の円陣